

(別紙4(2))

事業所名 : 認知症対応型共同生活介護事業所 愛誠園

作成日 : 平成 27 年 4 月 22 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「身体拘束排除宣言」を掲げマニュアルも整備している。食事時間のみ腰ベルトを使用している利用者の拘束期限が過ぎているが、見直しの検討や経過観察記録がなされていない。退院後の利用者に転落防止のベッド4点柵を使用しているが拘束の手順が踏まれていない。	○身体拘束に係わる手順の説明書・経過観察記録等を作成して、家族・職員との話し合いを行い、拘束の解除見直しを行う。	○家族・職員と拘束について検討する。 ○家族に身体拘束に於ける説明を行い、署名をもらう。 ○経過観察記録等を行い、拘束解除に向けた見直しの検討を行なう。	6ヶ月
2	35	年2回の消防訓練は行われているが、地域住民の参加が行われてない。避難経路になっている洗濯干し場の出入り口が衝立で通りづらい状況である。	○災害非難訓練への地域住民の参加を促し、協力体制づくりに取り組むと共に、避難経路の環境整備を行なう。	○災害避難訓練実施の地域住民への広報・声掛けをしていく。 ○避難経路の整理を行い、避難が出来るようにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。